

知立駅周辺エリアプラットフォーム
検討会議#3 / 2026.01.27

今年度の活動状況の報告

本日の議事

1. 部会活動の報告と今後の予定

- (1) ビジョン検討部会
- (2) 情報発信部会
- (3) 組織検討部会

2. プロジェクトの実施報告

- (1) 駅前暫定広場の利活用プロジェクト
- (2) まちなか事業者誘致プロジェクト
- (3) 実証実験支援プロジェクト
- (4) 東海道まちなみ修景プロジェクト
- (5) 公共空間デザインプロジェクト

3. 意見交換

今年度の実施事項

ビジョン検討部会

□ **目標管理と指標分析**、目標実現に向けた戦略検討を実施

情報発信部会

□ **イベント等での周知活動**、駅前広場における**サイネージ等の実証検討**

組織体制部会

□ **まちづくり会社の設立**に向けた勉強会と方向性の検討

暫定広場

広場運用の課題分析
人流測定の実証

空家補助

普及活用の拡大

高齢者見守り

スタートアップ支援の
実証環境の課題抽出

東海道

街並み修景検討
(問屋場跡地)

ビジョン検討部会の検討状況

昨年度参加者：

知立市商工会、株式会社藤田屋、株式会社FUJI、名古屋鉄道株式会社、西日本電信電話株式会社

昨年度の検討成果

- 昨年度は主に、今後のまちづくりの目標設定及びモニタリングや要因分析を行うための目標指標とモニタリング指標、目標値設定を議論
- 検討の結果、**未来ビジョンにおける目標指標及び目標値の設定**と、モニタリング指標の設定までは明らかにすることができた
- 一方、詳細なデータ分析に基づく課題の特定やその対応のための施策提案までには至っておらず、引き続き検討が必要



今年度の到達目標

- 事務局のデータ収集・分析結果をもとに、エリアの将来像実現における課題とその対応のための取り組みについて議論・検証を行い、**優先度の高い取り組みを戦略として提案**する
- 仲間づくりのための**データ公開や検証のあり方、仕組み**についても検討を行う

部会① ビジョン検討部会

	2020	2030	2035	2050
01 交流人口 <small>1日あたりのエリア滞在人口 (KDDI Location Analyzerに基づく)</small>	6,600人 <small>(2021年の平均値)</small>	7,000人 6%増	8,900人 35%増	13,200人 100%増
02 広場・公園面積 <small>エリア内の広場・公園の総面積 (知立市提供)</small>	5.8千m² <small>(2022年値)</small>	7.4千m² 28%増	14.5千m² 150%増	15.0千m² 159%増
03 定住人口 <small>エリア内の定住人口 (都市計画基礎調査に基づく)</small>	2,700人 <small>(2021年値)</small>	2,900人 7%増	3,600人 33%増	5,400人 100%増
04 商業・業務床面積 <small>エリア内の商業・業務用途床面積 (都市計画基礎調査に基づく)</small>	84千m² <small>(2022年値)</small>	89千m² 6%増	114千m² 36%増	168千m² 100%増
05 住み続けたいと思う人の割合 <small>(市民アンケート調査結果に基づく)</small>	65.8% <small>(2023年調査)</small>	67.5% 1.7ポイント増	70.0% 4.2ポイント増	80.0% 14.2ポイント増
06 年間乗降客数 <small>知立駅における1年間の乗降客数 (知立市の統計に基づく)</small>	1,000万人 <small>(日2.8万人) (2022年値)</small>	1,100万人 <small>(日3.1万人)</small> 8%増	1,200万人 <small>(日3.2万人)</small> 14%増	1,300万人 <small>(日3.5万人)</small> 24%増

目指すべき将来像とそこに向けたリスク

■ 目指すべき将来像

- 区画整理の完了とともに住宅開発が進行し居住人口の増加の若返りが実現
- 商業や都市機能の集積が進み、地元商業の活性化と地域経済の循環が実現
- これまでの知立の歴史や文化が混ざり、個性ある街並みと地域を形成

低開発

- 区画整理完了後も想定通りに立地や開発が進まず、低未利用地や駐車場、戸建住宅が中心に



【要因の例】

- 地価の先行上昇
- 敷地と土地の硬直化
- 外部開発・投資主体の不在 など

ベッドタウン化

- 集合住宅の開発が進むも商業等の開発が進まず、通りがマンションロビー中心で賑わい不在



【要因の例】

- 商業ディベロッパーの不在
- 低層部のテナント誘致力の低下
- 日中の滞在人口の低下 など

無個性化

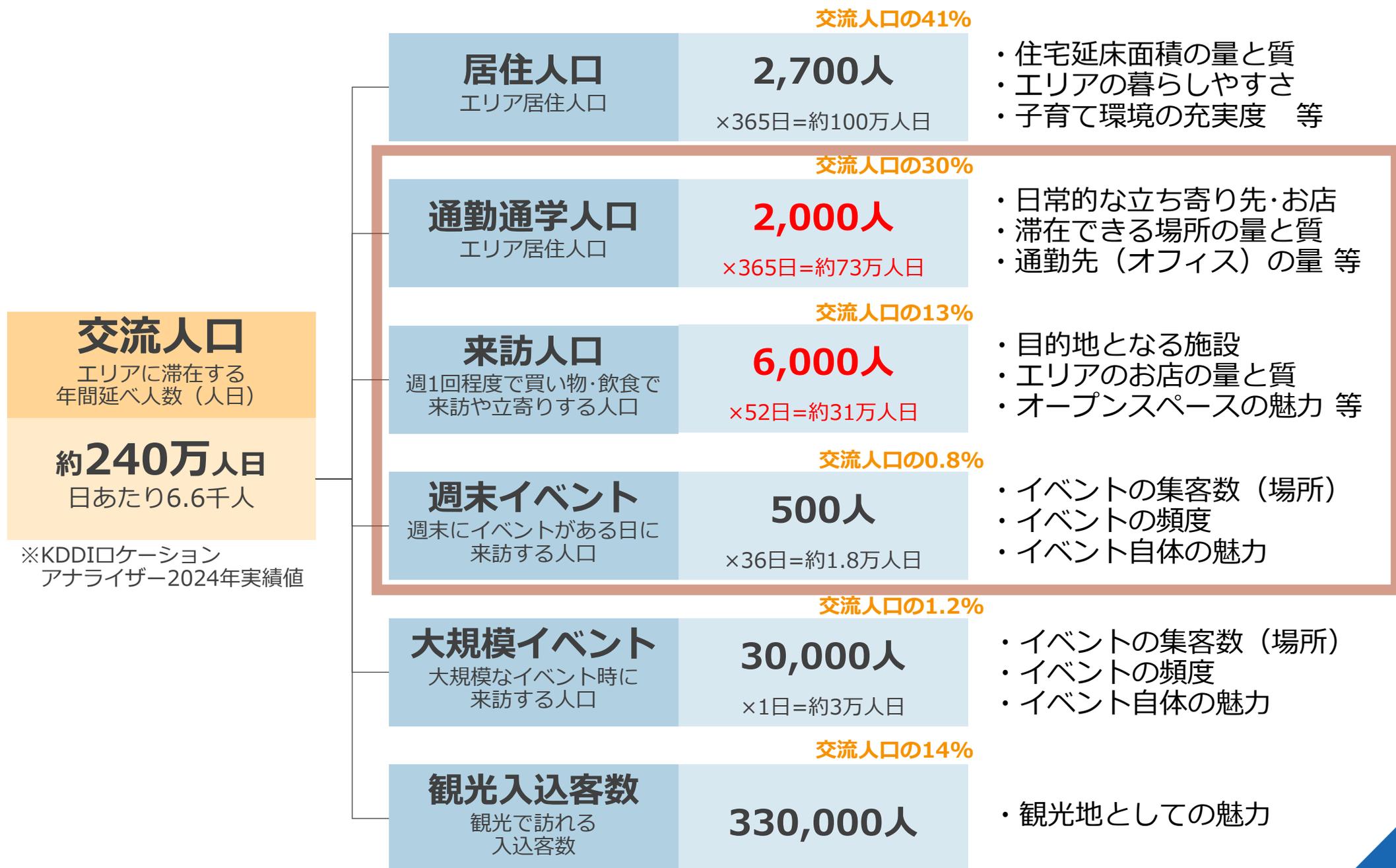
- 住宅・商業ともに集積が進むが大手チェーン店が中心であり地元商業への効果や経済循環に乏しい



【要因の例】

- テナント賃料の高騰
- 外部開発主体のみによる開発進行
- コミュニティの継承失敗 など

目標指標間に対応した取り組みやポイントの方向性



交流人口500万人を目指すパターン検討

	現状	パターン① ビジョン目標	パターン① 立寄り強化	パターン③ イベント重視
交流人口	240万人	480万人	540万人	490万人
居住人口	2,700人 ×365日=約100万人日	5,400人 ×365日=約200万人日	5,400人 ×365日=約200万人日	5,400人 ×365日=約200万人日
通勤通学人口	2,000人 ×365日=約73万人日	4,000人 ×365日=約145万人日	5,000人 ×365日=約183万人日	4,000人 ×365日=約145万人日
来訪人口	6,000人 ×52日=約31万人日	12,000人 ×78日=約95万人日	15,000人 ×78日=約117万人日	12,000人 ×78日=約95万人日
週末イベント	500人 ×36日=約1.8万人日	800人 ×48日=約4万人日	800人 ×48日=約4万人日	2,000人 ×48日=約9.6万人日
大規模イベント	30,000人 ×1日=約3万人日	30,000人 ×1日=約3万人日	30,000人 ×1日=約3万人日	50,000人 ×2日=約10万人日
観光入込客数	330,000人	400,000人	400,000人	400,000人

- ・ 交流人口の増加には、居住人口や通勤通学人口、立ち寄り人口が大きく影響

多様な商業の集積に向けた考え方の整理

	外部集客弱	外部集客強		外部集客弱	外部集客強	
大資本 (企業)	チェーン店 あると便利で 利用者の多い店	ブランド店 人気幅広く知られ お客を呼べるお店	→	大資本 (企業) 家賃負担力高い	市場規模 依存が強い 新規開発の 商業テナント	市場を作る 大規模商業の 目玉誘致
小資本 (個人)	地域密着店 地域の人に愛され 利用される個人店	人気店 そこにしかなく、 お客を呼べるお店		小資本 (個人) 家賃負担力低い	既存商店街や 居抜き利用	小規模開発や 空き家活用

- 新規開発における商業床は一般に家賃が高くなる傾向にあり、地域商業や個人店などのお店が入りにくい傾向にあり、**市場規模（交流人口・歩行者数）が広がってからでない**と集積しない可能性もある
- 多様性ある商業や先行的な商業誘導においては、①**小規模商業開発**（高架下利用を含む）など、家賃負担力が高なくても入れる商業床の確保、②**空き家活用や空き店舗活用への支援**（実施中）、③**創業支援・人材育成**も極めて大事

部会② 情報発信部会

昨年度参加者：

知立まちづくり株式会社、一般社団法人ゆめナビジャパン、株式会社キャッチネットワーク
西日本電信電話株式会社

昨年度の検討成果

- 昨年度は主に、知立駅周辺地区のブランディングやエリア内外の関係者・市民への周知を目的として、必要な情報発信の戦略について議論
- 多様な情報発信手法や形態について議論を行いつつも、①まずは市民1人1人に知ってもらうため**情報を集約**を行うこと、②**イベントなどを通じて関係者にまちづくりの動きを知ってもらう**こと、③駅利用者を中心にしっかりと情報発信を行う方法として、特に**デジタルサイネージの活用**について提案



今年度の到達目標

- 提案された**個々の取り組みを関係者と個別にやり取り・実施**しながら、**デジタルサイネージによる情報発信の試行について具体化**を行い、次年度の実施に向けた準備を行う
(プロジェクトに移行)

部会② 情報発信部会

多様な主体の巻き込みを目指した情報発信の段階的な推進

これからのエリアの変化を段階的、積極的に情報発信し、様々な主体の巻き込みや参加を促します。

STEP1(2025-2026)

情報の集約と公開

未来ビジョンの策定を契機に、知立駅周辺整備事業やまちづくりの情報をホームページに集約



市ホームページでの情報集約

既存媒体の活用

観光交流センターやイベント、関係者の持つ既存媒体等を積極的に活用し情報発信



マーケットイベントでの情報発信（一宮市）

STEP2(2027-2029)

駅前地区でのPR実証実験

暫定広場や工事の仮囲い、既存インフラ等などの活用により、多様な情報発信の実証・試行



換気塔を活用した参加型情報発信（豊橋市）

情報コンテンツの充実

SNSや情報アーカイブ、まちづくり通信や動画など、情報発信を行うためのコンテンツを充実



エリアマップ（知立駅北商店街）

通信（喫茶七番）

STEP3(2030-)

デジタルサイネージの運営

駅前広場の竣工を契機に、駅前デジタルサイネージを活用し地域の様々な情報を発信



駅前広場でのデジタルサイネージ（一宮市）

まちづくり拠点の設置

地域でまちづくりの詳しい内容を知ることができるまちづくり拠点を設置



都市開発拠点における模型展示（シンガポール）

部会② 情報発信部会

□今年度はまず、工事壁内へのデジタルサイネージ設置に向けた検討と準備を進める。



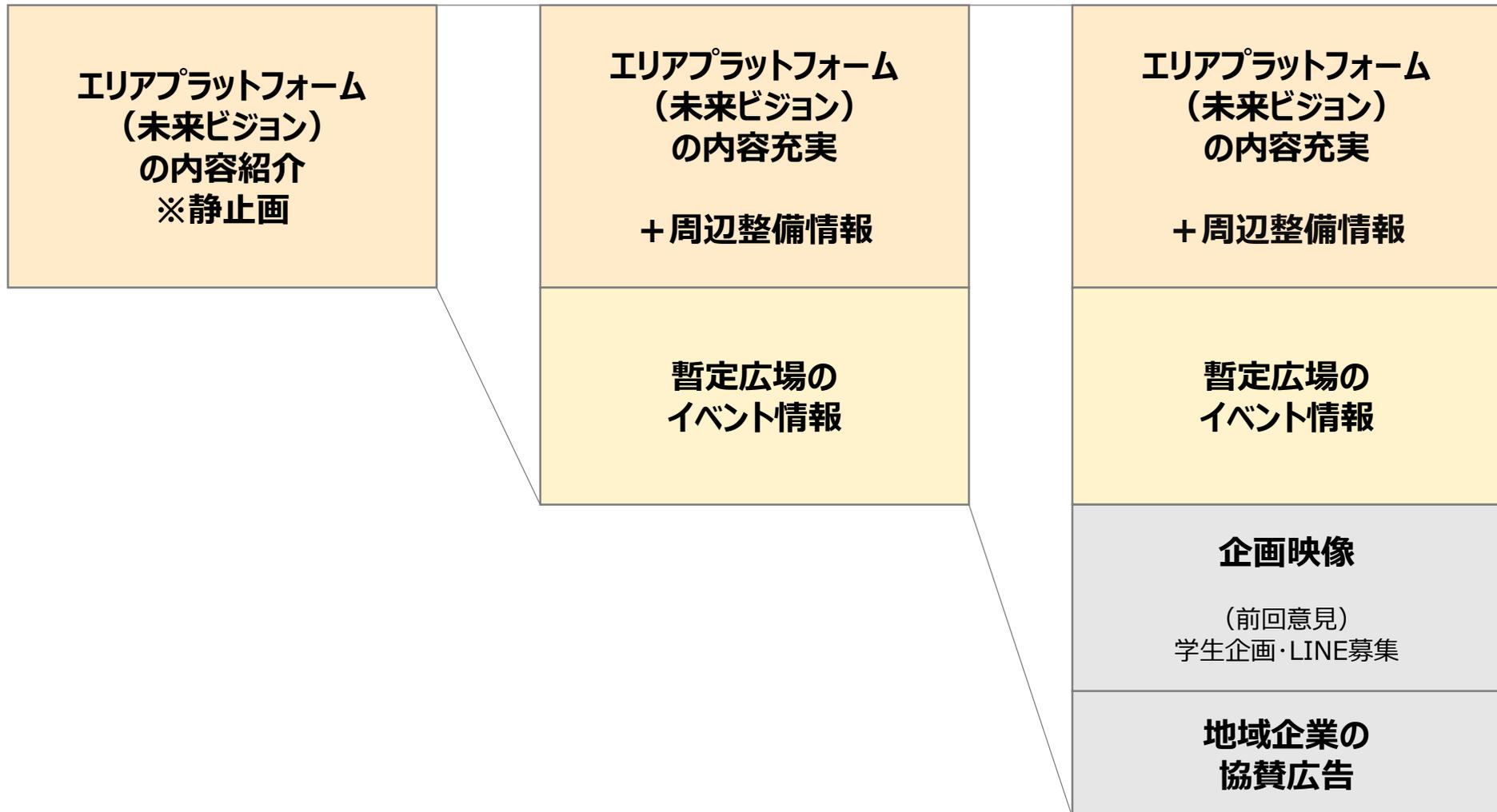
デジタルサイネージ運用のロードマップ

- 前回意見を受け、設置から徐々にコンテンツを充実し、外部からの受け入れ態勢を作る
- 最初はまちづくり情報の発信に力を入れ、徐々に周辺情報に拡大する

設置時から6か月

6か月から12か月

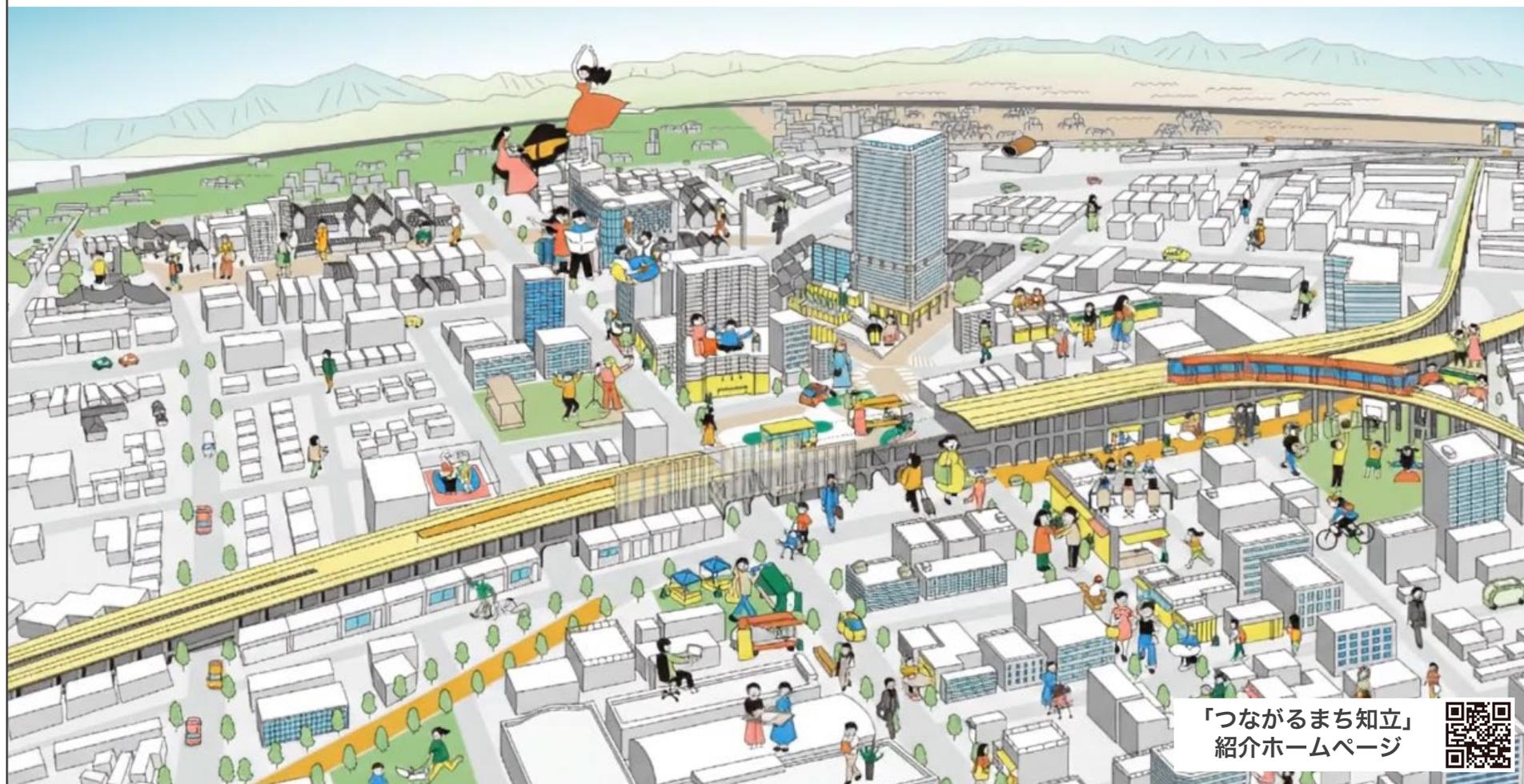
12か月以降



サイネージでの掲載イメージ例 —コンセプト

つながるまち **知立**
CONNECTING CHIRYU

100年に一度のまちづくりにむけて



「つながるまち知立」
紹介ホームページ



サイネージでの掲載イメージ例 — 暫定広場イベント告知

ちりゅっぴの庭「イベント案内」

10/11 (土)
9:00 - 15:00

知立ドリームマルシェ de
きゅうQたい

衣浦東部広域連合消防局とのコラボ企画を開催！

消防車との記念撮影や、クイズ大会、非常食プレゼント
など盛りだくさん！

秋の味覚 知立ドリームマルシェ de 再び!!
もっと知ろうよ
きゅうQたい 2025
10.11 9:00~15:00
消防イベントは12時までとなります / 小雨決行・荒天中止
場所：ちりゅっぴの庭（知立駅前暫定広場） ※公共交通機関または近隣の有料駐車場をご利用ください

先着 200名様
9:00~ドリームマルシェ恒例 / 知立名物 藤田屋 大あんまき プレゼント!!

9:00 大あんまきプレゼント (100名)
10:00 わかるかな? 救急クイズ
11:00 大連芸人ソウゾウ
11:30 キッズダンス Cheerful HOPPERES
12:00 おかし詰め放題
13:00 DJAZMA ステージ
14:00 秋の味覚 詰め放題 (100名)

消防イベント/9:00~12:00
もっと知ろうよ きゅうQたい
使ってみよう! AED
非常食配布
一緒に撮ろう! 消防車両
作ってみよう! ペーパークラフト
わかるかな? 救急クイズ

主催 / 一般社団法人 ゆめナビジャパン 共催 / 知立市 知立市観光協会
後援 / 衣浦東部広域連合消防局 協賛 ゆめナビジャパン tel / 090-9920-5577 担当：角田

「つながるまち知立」
紹介ホームページ



部会③ 組織体制検討部会

昨年度参加者：知立まちづくり株式会社、町内会（本町・新地町）、一般社団法人ゆめナビジャパン、知立市観光協会、知立市商工会、名古屋鉄道株式会社、独立行政法人都市再生機構

昨年度の検討成果

- 昨年度は主に、今後のまちづくりを持続的に実施するための地域の組織体制に関する課題と、必要なまちづくり体制について議論
- 現在は、個々の組織がそれぞれに役割を果たしているが、今後様々な公共空間が整備され、各組織の世代交代を見越したうえで、①**エリアプラットフォームの体制拡充**と、②**まちづくり会社の設置が必要**であることが整理された



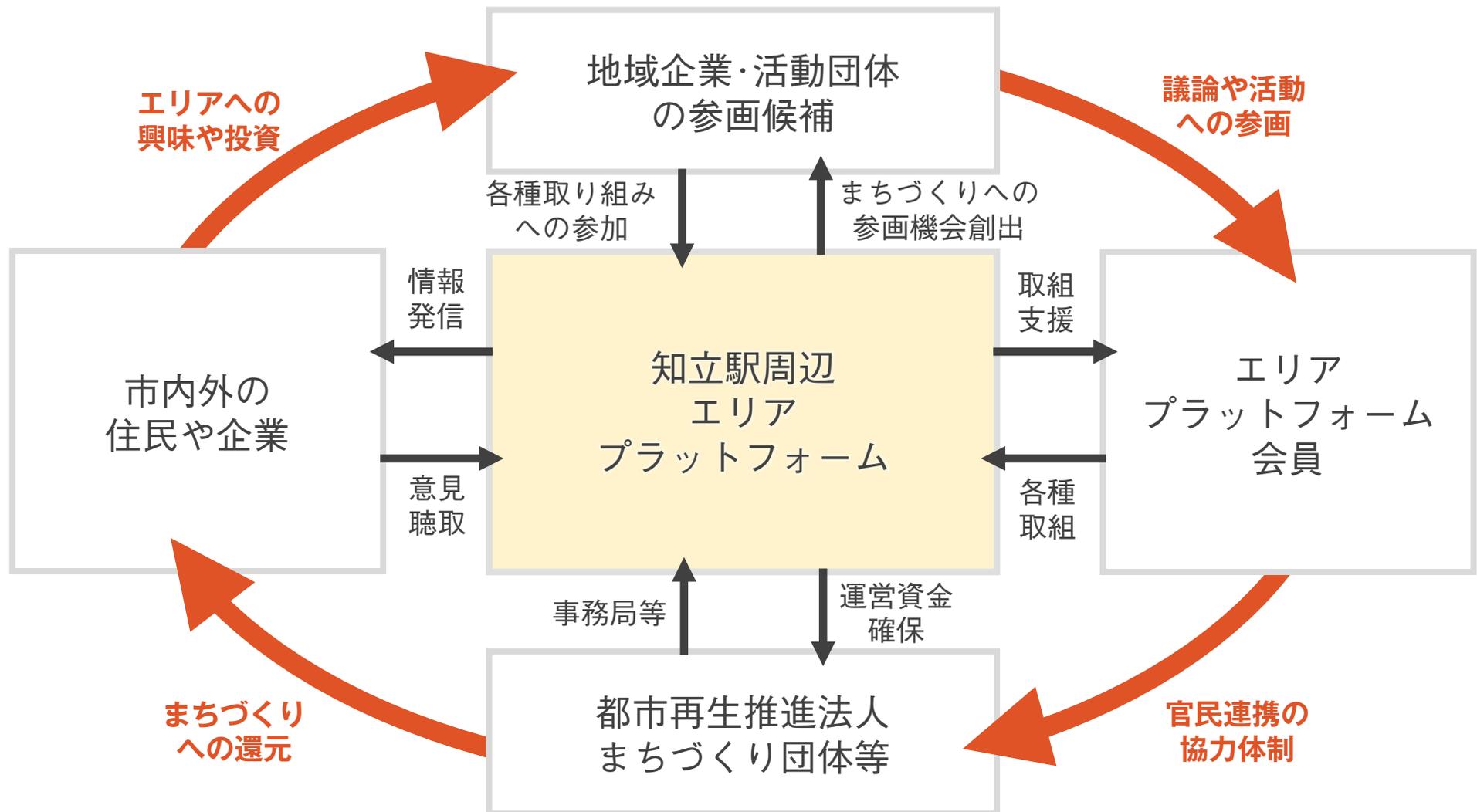
今年度の到達目標

- エリアプラットフォーム体制の拡充は検討会議全体で議論
- まちづくり会社の設置について、知立まちづくり株式会社と協議を開始しており、今年度中に他の関係者とも議論しながら**まちづくり会社の設立に向けた具体的な方針を出す**予定

部会③ 組織体制検討部会

持続的なまちづくり体制の構築

未来ビジョンをもとにした主体的なまちづくりの推進のため、エリアプラットフォームが核となり、多様な主体の巻き込みを図りながら、持続的なまちづくり体制の構築を進めます。



部会③ 組織体制検討部会

現在の検討状況

他地域事例の収集と分析

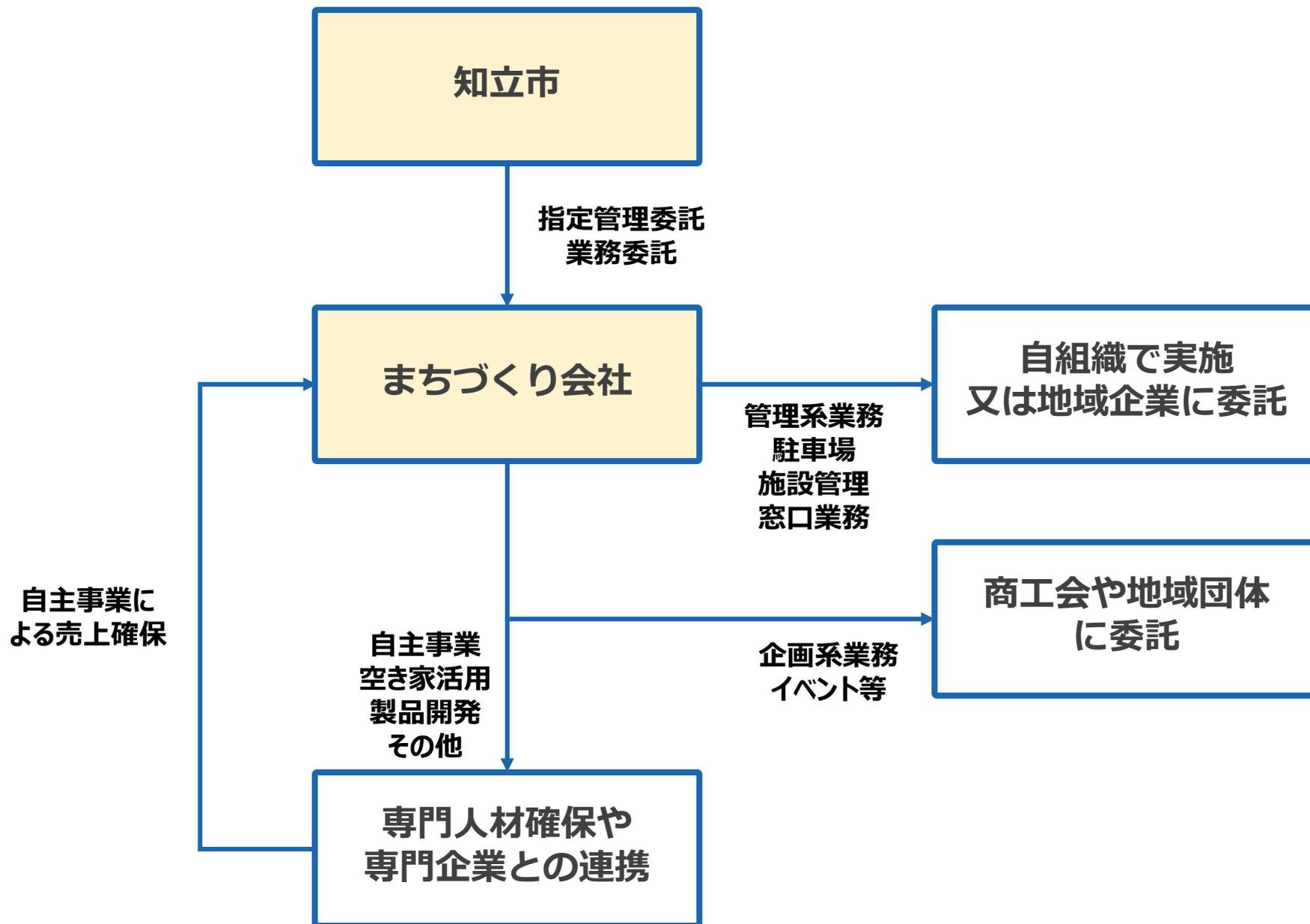
- 他地域のまちづくり会社の設立・運営事例を収集し、知立市の状況にあった事例やポイント、課題について整理
- 今後、このエリアで期待されるまちづくり事業とそのために望ましい体制づくりについて議論を開始

他地域事例の視察

- 知立市に近く、既存組織の形態が似ている東海市太田川駅のまちづくり東海を視察
- 公共空間の指定管理とイベント事業、観光物販販売等による事業収益化の仕組みやそのための活用制度について聞き取り

視察や議論への参加呼びかけを行う予定

地域全体で取り組む体制づくりの素案



本日の議事

1. 部会活動の報告と今後の予定

- (1) ビジョン検討部会
- (2) 情報発信部会
- (3) 組織検討部会

2. プロジェクトの実施報告

- (1) 駅前暫定広場の利活用プロジェクト
- (2) まちなか事業者誘致プロジェクト
- (3) 実証実験支援プロジェクト
- (4) 東海道まちなみ修景プロジェクト
- (5) 公共空間デザインプロジェクト

3. 意見交換

プロジェクト① 駅前暫定広場の利活用プロジェクト

主な実施者：(一社)ゆめナビジャパン、知立市商工会、知立市経済課

これまでの実施成果

- 暫定広場の利用促進により、月に1回程度の定期イベントを開催。一般利用も増加し、イベントやマーケットのほか、キッチンカー等の日常的な出店、町内会による盆踊りの開催など、活動も多様化
- 利活用が増加する一方で、電源などの設備に対するニーズ、騒音やごみなど管理上の課題などが発生しているところ

回	日程	内容	実施団体
1	4月20日	今こそ知立の ONE チーム～防災を学ぼう～	(一社)知立青年会議所
2	5月3日	知立ドリームマルシェ de お祭りワッショーイ！！	(一社)ゆめナビジャパン
3	7月28日	今こそ知立の ONE チーム～せかいのあそびを知ろう～	(一社)知立青年会議所
4	9月11日	39呑み (SAKUNOMI) 知立飲み歩きイベント	知立市商工会青年部
5	10月12日	知立ドリームマルシェ de やきいもらんど with もっと知りたいぎゅうQたい	(一社)ゆめナビジャパン
6	10月26日	わくわくワークショップ	知立市商工会青年部
7	11月16日	今こそ知立の ONE チーム～カラオケで遊ぼう～	(一社)知立青年会議所
8	12月10日 ～1月31日	イルミネーション	(一社)ゆめナビジャパン
9	12月21日	ちえキャン	知立市商工会青年部
10	2月1日	今こそ知立の ONE チーム～運動で健康になろう～	(一社)知立青年会議所
11	2月22日	知立あるクエスト	知立市商工会青年部
12	3月29日	知立ドリームマルシェ de CHALLENGE	(一社)ゆめナビジャパン

令和6年度実績

委託事業のイベント：12件

自主開催のイベント・出店：88件



合計：100件
(稼働率32%)

令和7年度は現在時点で稼働率82%

プロジェクト② まちなか事業者誘致プロジェクト

主な実施者：知立市経済課・企業立地推進課、知立市商工会、碧海信用金庫 等

これまでの実施成果

- 「知立市中心市街地出店事業者支援補助金（知立市経済課）」は、知立駅周辺エリア内の空き店舗を活用して昼間に飲食店等を行う事業者へ家賃や改装費の補助を行うものであり、**家賃と改装費それぞれ2件ずつ交付申請**があった。
- 「オフィス開設等補助金（知立市企業立地推進課）」は、こちらは市内にオフィス等の開設する事業者に対し、その設置に要した費用の一部を補助するもので、知立市立地適正化計画の都市機能誘導区域に開設した際は加算措置が設けられている。**知立駅周辺エリア内での申請実績は現時点ではない。**



今年度の実施内容

- 引き続きまちなか事業者誘致に向けて普及展開を進める
- 今年度の状況として、商業事業者についてはすでに2件補助が決定
- オフィス開設についても実績創出を目指す



プロジェクト③ 高齢者居住サポート実証プロジェクト

主な実施主体：(株)FUJI、野村開発(株)、知立市経済課 等

これまでの実施成果

- 市内11名のモニターにご協力いただき、見守りシステムの実証実験を半年間実施
- 実証実験の結果、既存の見守りシステムとの併用により、不動産管理会社の見守りに対する負担減少につながる可能性があることが明らかとなり、生活リズムの乱れの把握など、福祉政策との連携の可能性も期待できることが示唆
- 6/23に庁内関係課に成果報告をいただき、今後FUJIさんのサービス展開に合わせ、施策での活用可能性がないかを各課に周知



株式会社FUJI 提供資料



今年度の実施内容

- 今回の実証実験の経過を踏まえ、知立市としてスタートアップ企業や実証実験支援のための枠組みを検討し、エリアプラットフォームにも適宜相談を予定
- 暫定広場における広場利用状況のモニタリングに関する実証実験を実施

プロジェクト④ 東海道まちなみ修景プロジェクト

主な実施主体：知立まちづくり(株)、銀座エリアの沿道関係者、知立市経済課 等

これまでの実施成果

- ❑ 銀座通り商店街や沿道関係者による5回の勉強会を実施し、東海道らしい街並み形成に必要な取り組みや問屋場跡地の移設について、具体的な検討をもとに関係者の理解を深めた
- ❑ 具体的な取り組み実施にあたって、商店街以外の主体の巻き込みや取組範囲の拡大、そのためのPRなどの取り組みが必要であることを確認
- ❑ 今年度7月にはワークショップにより広く沿道の意見を集め、街並み修景のために必要な取り組みや問屋場跡地の移設の方向性について意見収集を行っている



今年度の実施内容

- ❑ 東海道まちなみ修景への取り組みとして、短期的に街並み全体でできる取り組みと問屋場跡地の計画をとりまとめ、出来ることから早期に実施を進める

プロジェクト④ 東海道まちなみ修景プロジェクト

7月ワークショップの様子

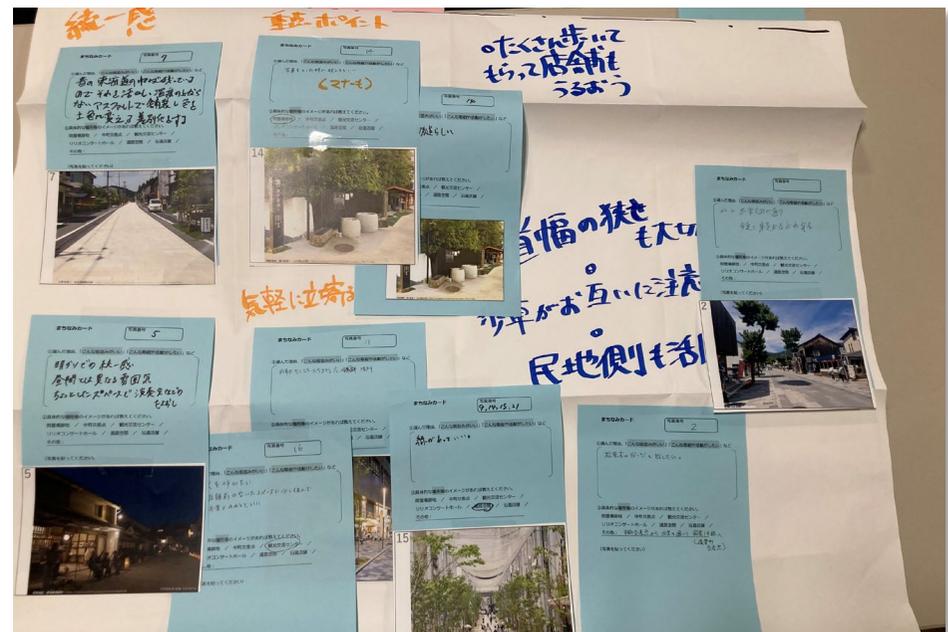
東海道池鯉鮒宿まちなみ修景プロジェクト 令和7年度第1回勉強会
 東海道のまちなみのあり方を考えよう

日時 | 2025年7月7日(月) 18:00~20:00

場所 | リオコンサートホール2階 会議室

【プログラム】

時間	内容
18:00	1. 開会挨拶・趣旨説明
18:10	2. 話題提供①：池鯉鮒宿の歴史とまちなみについて 知立市元学芸員/名阪興業株式会社 技術室 社員 特定非営利活動法人 Green Trust 会員 岡田 美穂子 氏
18:35	3. 話題提供②：旧街道の再生に関する事例紹介 ・ 東海道をはじめとする旧街道のみちづくりや意匠についての事例紹介 ・ グループワークと「ビジョンカード」の説明
18:50	- 休憩 (5分) -
18:55	4. グループワーク ①現在の東海道の課題と今後の期待 ②実現したいまちなみについての議論 ・ 「いいな」と思う事例写真を選び、その理由や知立で実現したい事などを共有 ・ 目指す方向性や取組を模造紙にまとめ、班としての模造紙のタイトルを決める
19:50	5. 全体共有・講評
19:55	6. 閉会挨拶・今後の予定など



プロジェクト④ 東海道まちなみ修景プロジェクト

具体化を検討する取り組みの方向性

① 路面への表示

- 東海道であることが分かる表示を路面に設置できるかどうかを検討
- マンホールや路面標示などいくつかの方法の可能性を探る



② まちなみの統一感

- のれんや灯籠、みどりなど、気軽に設置出来て、まちなみの統一感が出る工夫を検討
- 銀座通りでの実施可能性を検討する

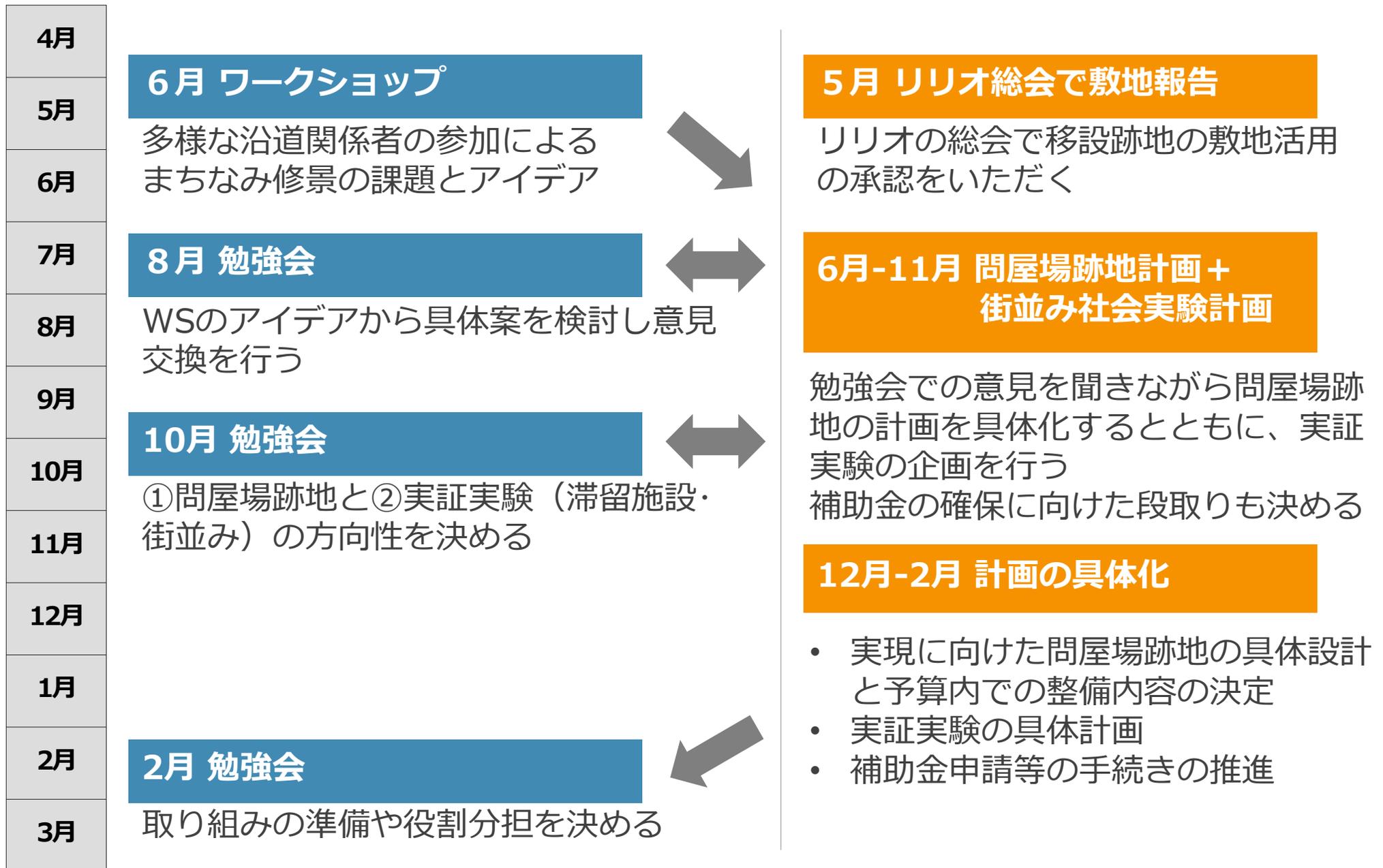


③ 問屋場跡地の移設

- 現在の位置から、リリオ敷地内に問屋場跡地の移設を行うことを検討
- 案内板の設置など、観光客への情報充実に向けた整備を検討



現在の検討状況



R8年度 問屋場跡地の移設と実証実験の実施

問屋場跡地のデザイン検討



プロジェクト⑤ 公共空間デザインプロジェクト

主な実施主体：知立市都市整備部、有識者 等

これまでの実施成果

- これまでエリアプラットフォームでの議論やワークショップの意見をもとに、専門家とのワーキングを行いながら、駅前広場や周辺街路・公園のデザイン検討を推進
- 高架下の活用方針や駅前公園・堀切公園の計画具体化のための調査にも着手し、周辺の自転車等の通行量調査や市民アンケート、民間事業者へのヒアリング等を実施
- 今年度は、3団体（ゆめナビジャパン、知立市商工会青年部、知立青年会議所）と具体的な施設等の内容について、協議を行いながら検討を推進